

# 1 まちづくり懇談会 明智

日時：平成 29 年 12 月 7 日（木）午後 7 時～8 時半

場所：明智文化センター

---

## 4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■市長 明智町は平成 17 年に 6672 人、28 年に 5573 人。2061 世帯が増えたり減ったりしここ 2、3 年で急激に減り今は 2042。人口は平成 17 年を 100 とすると恵那市全体では 9.6%減、明智町は 16.4%減。厳しい数字だ。出生数は平成 17 年に 38 人、38、27、37、35、42、33、28、39、22、22、35、20。全体としてはちょっと減ってきた。20 人を切ると深刻な状況だ。何とか持ちこたえていただきたい。47.3%。何とか、子どもさんには明智に帰って来いなど声掛けをしてほしい。

明智は何といっても大正村だ。平成 27 年に村長が代わり、今は 3 代目で竹下景子さん。素晴らしい施設があり核になっている。ちょっとおんさい祭り、光秀祭り、今ははいからさんが通るキャンペーンが 12 月 28 日まで。こういう取り組みにより、大正村の入込客数は平成 24 年 11 万 5 千人、今は 21 万 6 千人。かなり持ち直している。地元と大正村役員のご努力によるものだ。浪漫亭のリニューアルは 1 年が経った。昨年 10 月 27 日にオープンし、4 つの店に入っている。テナントとして地元の皆さんに頑張ってもらっている。来客数が 7 万 1 千人。よく頑張っている。今は売り上げも素晴らしく上がっている。

花いっぱい。花と木のまちづくり実行委員会。平成 26 年 9 月に 16 人の役員、各種団体の皆さんが取り組んでいる。4 月、11 月に花を植えたり手入れされている。

祇園祭り。観光協会として取り組んでいる。スタッフ 300 人で来場者数 4 千人。1 年を通じていろいろな取り組みがされていることに感心している。

8 月 14 日の納涼花火大会。僕はギリギリ間に合わなかったが来年は来たい。人手がすごい。大勢の人が楽しみにしている。素晴らしい。

かえで祭り。10 月 29 日。いろいろな人が来られるし、広場があるのでお客さんのたまりもいいし、楽しんでいただける仕組みになってきたと思う。

ウォーキング大会。春のフォトロゲーニングにはお邪魔した。私は秋には来なかった。212 人に参加いただいた。

千畳敷のイルミネーション。毎年冬にやっている。12月から2月。商工会青年部が頑張って作っている。冬の風物詩になっている。

春の最初のイベントがクロスカントリー。今年私もお邪魔した。平成30年は3月18日。28年は参加者1794人。春の明智町を駆け抜ける定番のイベントになってきた。

こころざし学習。中学生によるまちづくり。大正村、花いっぱい、総合防災訓練、救急搬送訓練、かえで祭りと、1年を通じて中学校の皆さんには地域を知ってもらうということをやってもらっている。大変重要だ。子どもたちが大きくなって明智にしようか考えるとき、こういうことをしていることが明智に戻るいいきっかけになるはずだ。

まいまいクラブ。平成28年4月に設立。89名の若い人が集まっているいろいろやっている。全部、名前は知っていたがどんなことをやっているか知らなかった。中学校横の河川公園の整備、明智駅の清掃、ボランティア参加、情報発信でホームページ。若い人が動き出すと町が変わってくるのではないかな。

10月には大正村掃除に学ぶ会。私もあいさつさせていただいた。全国から700人、体育館がいっぱいになるほど皆さんにお越しいただいた。素晴らしい取り組みだ。これが平成5年からずっと続いているということが大切だ。

南高校魅力化プロジェクト。平成28年度にスタートし、恵那川上屋とタイアップし栗の加工、6次化を学ぶ。南高校の存続に向けた大きなプロジェクトだ。今年もロールケーキ、モンブラン、タルトを作っていただき、僕のところにも来ていただいた。その足で岐阜県教育長のところへ行き報告していただいた。こうした取り組みが実を結び定員が増えるといい。

浪漫学園。小、中、高。同じ場所に学校がある。1カ所にあるのは明智だけだ。縦のつながりを持ちながら取り組みをしていく。その特色がある。南高校は、入学者は25年から93、59、59、74、60。大変厳しい。6次学習も含め、もっと魅力を発信し、地域の皆さんでもサポートしていただき、何とか南高校が残れるように頑張っていきたい。

明知鉄道は明智駅に本社がある。料理列車、SL。じねんじょ列車、料理列車の客数は、平成27年1万7千人。平成28年1万1千人。29年度は10月末で5千人のお客さん。明知鉄道の経営は、定期で乗る子どもの数がどんどん減り、観光客が増えている。今、かなり近づいてきている。観光列車的側面が大分増えてきた。そうした中、SLも大きな起爆剤になる。こういった取り組みも進めていきたい。

ハード事業。国道363号線歩道設置工事。県の事業。400m。27、28、29年で今年は舗装400m。事業費は4千万円で一応完了した。

瑞浪上矢作線、明智から工業団地に上がる道の歩道設置工事。29年度は測量と設計をしている。30年に法面の詳細設計、用地補償を予定している。

豊田明智線道路改良。すぐその交番の横が完成した。和合地区は総事業費16億8400

万円。28 年までで完成。

大久手の工業団地。明智碍子、明光化成、岐阜耐性加工、あずまや、明智ジェネティックスの 5 社全体で 762 名の従業員がいる。こうした会社を存続していただくためにも恵那南高校は大変大事だと思うので存続に向けて努力する。

## 5. 意見交換

■新井・伊藤 明智に中学校を残そう会の呼びかけ人の一人だ。小坂市長、就任 1 周年おめでとうございます。先ほど来市長自らの市政全般にわたる、それから明智町に関する説明と解析で、市政運営の取り組みがよく分かった。市長は就任当初から、将来にわたり自分たちが誇りを持ち、学び、働き、暮らし続けられる恵那市を創ると標榜され、特に、はたらく、たべる、くらすの 3 つの重点項目を挙げられた。加えて、政策実現のために徹底して市民と対話をしようと職員に訓示されたと聞く。今日この場もその一つの現れだと思う。

昨年 3 月、恵那市教育委員会は恵那市南地区中学校再編委員会の協議を受けて、恵南 5 中学校を 1 つに統合し、山岡地区に新築、平成 33 年開校を目指すと前市長に答申した。小坂市長はこの答申に対してどのようにお考えか。広大な恵南地区を 1 つの中学校に統合することは、通学にかかわる生徒や保護者の負担が増大するばかりでなく、これまでのそれぞれの地域の中心的存在だった中学校がなくなること、地域の衰退につながらないかと心配している。でもそれでは市長の掲げる 3 つの柱に背くことになるのではないかと危惧する。学校は地域の宝で住民の宝だ。この明智にも何としてでも中学校を残していただきたい。私は統合に反対の立場で発言をしている。この問題は、もっと多くの反対意見、その他の意見もある。答申から動きのみえない 1 年 8 カ月。小坂市長には、今後に対話を続けていただきたい。

ちなみ明智に中学校を残そうとの意思表示、署名をした明智住民はこれまでに 1400 名を超える。

最後にもう一度お願いします。明智にも中学校を残してください。

■市長 ほかの地域懇談会でもこの話は出た。いろいろと意見が分かれている。1 年前の選挙のとき各地域を回った。中学校の統合は、180 度意見がばらけている。早くやった方が子どものためだという人、何とか残してほしいという人。これについてはもっと話し合いも必要だし、出された答申に関して具体的に細かいところまで詰まっておらず、皆さんの疑問に答えられるようにもなっていない。そのために、今時間をいただいてやっているのは、市の中で課題となるのが 24 項目ある。通学時間、費用のことも含めて。それを具体的に検討し、皆さんに納得いただけるかも含めて今洗い直している。時期が来れば改めて皆さんとお話したい。今は少し時間をいただいている。

■大船・荒木 今明智町やその周辺地域に、山林を切り開いて太陽光パネルがたくさん設置されている。その多くが、私たちしろうとで見ても、これでいいのかと思うような、土砂や水がどこへ行くんだろうという作りが多い。実際に聞いた話でも、作ったところで土砂がいつまでも流れると。大阪の業者らしいが、連絡を取ろうとしても電話がつかないというケースもあるようだ。私たち大船地区にも、今年9月10日、東京の業者から、1万㎡弱の太陽光パネルを設置したいということで説明会があった。設置場所が、私の住んでいるすぐ頭の上だ。そこは災害マップで見るとレッドゾーンの裏に当たる。そういったところでも、そのゾーンを外せばいいのかという思いで心配している。地元でも、この山の木を切れば水や土砂が一度に集中するし、その流れる先は私たちの住んでいるところだ。それを聞き、とてもこれから先安心して暮らせないと思い、役所に何度か相談に行ったが、今はやめろとは言えないということを聞かされた。民民の話し合いで対処してほしいということだ。でも、私たちは専門知識もなく、どうやったら安全かということが分からない。そういった中で、そういう返事をもらい、本当にとても悲しい思い、つらい思いで帰ってきた。こんな災害に直結するようなことでも本当に市が何も言えないのか、素朴に疑問をもった。一度伐採が進めば元に戻すのに何十年とかかる。早急に市としてきちんとした条例で対応していただくようなことはできないか。それと、この件は自治会と相談して同意できないということを東京の業者に伝えたが、計画は続行するようだ。今のところお手上げ状態だ。一つ聞きたいのは、市の指導要綱の中で、自治会の同意を得ると書かれていたと思うが、私たちが同意しなかった場合、市はそのような対応をしてくれるのか。

■市長 ほかの地域からも同じような話があった。特定の人の課題というわけではなく町全体の課題として町全体として意見として上げてほしいとお願いしている。明智全体の課題とすればいろいろな検討もできるが、個人だとなかなか動かしにくい。ぜひ地域の皆さんで検討してほしい。これに関しては実際に今少し作業が進んでいる。

■副市長 5万㎡の開発をしたいというところが他の地区がある。そこからは条例を作ってくれという建議書が出た。条例を作るかどうかは別として、市としては何らかの、ある程度の基準を作って、地区の同意を求める形で整理したい。私も明智の住人だ。思うのは、地域の人たちが本当に太陽光が必要なのか、自分たちとしてどうなのかを、大船地域で考えをまとめていただき、やはり、看板を立てたりそういう対策をするというような、地域での声をしっかり上げていくことが大事だ。私たちの整理は、来年の4月ぐらいまでには行いたい。その場合には、住民だけの意見では進まない。その業者も入れて、どうしたらいいかの形づくりをする。

■片平・小久保 人口推移と出生数を見て思ったのが、恵那市は若者の定着率が低いのはということだ。逃げて行っているのではないかと。恵南、明智は隣が豊田市だし西は名古屋がすぐそこだ。恵那より豊田や瀬戸に通う方が車なら近いかもしれない。この状況では

そちらへ行ってしまわないか。永田の住宅開発を聞き、若者に住んでもらうのに、そういうまとまっているところがあれば残るのではないかと思った。住宅は全て売り物なのか。市営で経営するのか。できれば市営でやった方が入りやすいと思う。若者が家に住むと言っても、お金がないというのが一番大きいと思う。賃貸に入ると思う。市営が一番安いと思う。そこを充実しないといけない。前市長のときにこの話をやった。市営住宅はたくさんあると言われた。でも若者が出ていくのはなぜなのか。

市営住宅の所得制限があるのか。それがかせになっているのだと思う。16万円弱だ。16万円弱で子育てする世帯が暮らしていけるか。それは難しい。もっと幅を持たせて、もっと上の所得でも入れるようにならないか。

■市長 区画整理をする60区画は、民間だ。売却される。市としてはこの土地を取得するという事ではない。市営住宅の所得制限の規制緩和については、これから検討する。一部では定住促進住宅を飯地町で作ったが、いろいろな規制があり今は空いてしまっている。市のやることなので住宅施策も上手にやれていない。民間のノウハウも組み入れ、住みたくなるような住宅施策をしたい。

■副市長 雇用促進住宅は、一時期全部出てもらうことになっていたが、民間の業者が買い、今はオーダーがあればそこを改修して住む形になっている。明智の雇用促進住宅も、企業が住ませたいというところがあり、改修して間もなく住み始める。

■市場・青木 中津川は交通代行というのが出た。代行はともかく、恵那市としての交通網、街の中は歩行でも行けるが、大船、門野、東方はまだ1日1本入っているが、そうしたところの交通網。それと、できれば、地域ごとに、みんなの推薦で、安全運転する人が役に立てれば、そういう人によって、年寄りが動かないとお金が動かないとだめだと言われているので、家で閉じこもっていたらだめで、ぼけ対策で、反面交通網がないので、僕らもあと10年ぐらいなので、65歳以上が2100人いるそうなので、その人たちを動かす勘考をしてほしい。中野方が盛んだそうだ。明智もやってほしい。

■副市長 明智地域のことは私がよく承知している。うまくやっている地域で、バスは市で提供して、地域でやっている。地域で運転手も調達し、オーダーがあればそこへ行って回送したりして。たとえば大船で何人乗りたいので、それを受けてやるという、そういうやり方をしているのが、飯地、中野方だ。もし明智の人が本気でやるということなら、私たちも考えたい。バス運行だけで1億8千万円の赤字を市で出している。岐阜県でもトップクラスの赤字額だ。このままの体制ではいけない。地域で皆さんが協力してくれて、運転はボランティアという感じでやり、あとは誰かがまとめる。車は市でやってほしい、ということなら、担当は島崎で明智住人なので、話に乗る。

■明智学童クラブ指導員・三浦 明智小学校に入っている学童保育所だ。通常60人来ている。10年前は10人だった。子どもは減っているが、働く親が増えて学童の利用者が増



えている。岩村も一昨年第2学童、長島は来年4月に第3学童ができる。中野方もできる。教育委員会で言われたのは、家庭教育を主に置いているから、家庭でみればいいと。でもいろいろな家庭があり仕事もしていて、祖父母もみんな働いているとか。核家族、一人親家庭、いろいろな状況があり、どんどん自分の手に負えないくらい増えている。今年明智も第2学童ができたが、こういう状況が、小学校の小1の壁を超えて小学校6年生まで学童にいる子もいる。忘れ物をした子があり、私は家が山岡だが、上田良子、吉良見のところで道に迷い、こんなところに家があるのと思って40分行ったらやっとあった。そういうところの子が来ている。こういう状況でもう少し学童保育のことを。耳に入っていると思うが、市長の意見を聴きたい。

■市長 ほとんど私の耳には入っていない。第2学童が4月にできた。あとは飯地、東野が残っていて、ほかはほとんどの学校でできているということまでは聞いている。学童保育の費用が高いので下げたいということで、4月から1000円ぐらい下げた。予算で対応した。ただ、各地区がかなりの問題を抱えているということまでは知らなかった。改めて、私も含めて現場に足を運びいろいろな意見を聴きたい。

■住民 地籍測量について。明智町は昭和30年頃町村合併で、旧明智、東方、吉田村、みの村の横通の4町村が合併した。その中で地籍測量が平成元年から始まった。現在、済んでいるのは40%弱だと思う。地籍は山でもどこでも、現地へ行って個人個人の境に立ち会い境を決めて杭を打つ。明智町では、現在しずなみ村、吉田村が大体済んだ。吉田村の大田地区まで来て、かみだがまだ住んでいない。明智町も順に行けばかみだ地区になるが、明智町では4、5年中断している。どういうことか。恵那市では、11月号でも見たが、恵那市中で39.79%だということだ。明智もそのぐらいだと思う。今後、境界確認が、どの人も高齢になり、40、50、60代前半の人は自分の山がどこにあるかほとんど知らない。60代後半から80歳ぐらいの人が知っているが、その人は山で境界の杭を打とうと思ってても足腰がついていかない。地籍測量は10年以内に完了する予定を組んで、国の予算も市の予算もあると思うが、やれるところはしっかりやっていただきたい。明智町の地籍測量の継続をしてほしい。

■副市長 地籍のことは私も十分知っていた。市役所の地籍の考え方は、要望合戦で、要望の強いところは自分たちで杭もしっかり打ち協力体制がしっかりできる。そういうところを優先する。明智の皆さんは、しずなみ村、吉田の小泉、大船、吉良見、田良子、大田まで来たので、きっとそのままやってくれると思っていたので、要望をせずに静かにしていた。が、旧恵那市は比較的地籍に対してあまり意識がなかった。最近になって地籍の大事さに気付かれて、本当に熱心に要望している。そこを優先したので、明智が置いてきぼりになっている。しっかり要望していただきたい。来年度からは明智に入るようになってくる。ただし要望をしっかりしていただくことが大事だ。13地域あるので、今後地籍を

全部やっても恵那市全部で100年かかる感じだ。毎年1億円ずつ入れてもそうだ。

■司会 まだ言い足りないことはアンケート用紙に書いてほしい。

#### 6. 市長お礼のあいさつ

■市長 活発なご意見をいただき感謝する。ご意見は承り、おこたえできるところはおこたえする。言い足りないところは振興事務所長に行ってくれば私に届く。明智が住みやすい町になるようにしたい。よろしくお願いしたい。

■明智町自治連合会会長・伊藤ようすけ 熱心な討議、丁寧な応答、ありがとうございました。ふるさと明智が今後も持続するよう行政とともにやっていきたい。一人一人が汗を流すことが大事だ。

〔 閉 会 〕